

おっよと

大阪工大通信



みらいをつくる つたえる まもる。

大阪工業大学
OSAKA INSTITUTE OF TECHNOLOGY

編集・発行／学生部学生課

〒535-8585 大阪市旭区大宮5-16-1

E-mail: OIT.Gakusei@joshu.ac.jp

Tel: 06-6954-4651 Fax: 06-6951-7760

おっよとWebsite (本号をはじめバックナンバーをアップ)
<https://www.oit.ac.jp/oit/about/magazine.html>

OIT Website ▶ <https://www.oit.ac.jp>

大阪工業大学通信

おっよと No.298

2026年 1月



学園祭を 開催しました!



CONTENTS

P2
小学生工作チャレンジフェアを開催 ほか
P3
現場で学ぶ、知的財産の最前線 ほか
P4~5
学園祭報告
城北祭・茶屋町祭・北山祭

P6
学生フォーミュラプロジェクトが「第23回学生フォーミュラ
日本大会2025」にて「最軽量化賞(ICV)」と「省エネ賞」を受賞 ほか
P7
奨学金関連記事 ほか
P8
私の学生時代を振り返って ほか



小学生工作チャレンジフェアを開催

10月18日・19日大宮キャンパスで「小学生工作チャレンジフェア」を開催しました。本フェアは大学の教員や学生が、地域の小学生を対象に工作・実験を体験してもらうことで「理科好き」、「工作好き」の子どもたちを育てようと企画、実施したイベントで、コロナ禍での中断後、開催時期や企画を見直して、リニューアルで再スタートしました。当日は、12のプログラムを用意し、延べ約2,000人の小学生とそのご家族のみなさまにご来場いただきました。

工作や実験に取り組む子どもたちの真剣なまなざしや、たくさんの笑顔が各会場で見られ、本学ならではのプログラムに触れていただく2日間となりました。



みんなで楽しくロボットを操縦



小学生の工作を学生が優しくサポート



夢キタ万博2025に「人間拡張」ブースを出展

9月20日、ロボティクス&デザイン工学部システムデザイン工学科・井上剛教授(ヒューマンセンシング研究室)と同研究室所属の学生が、大阪市北区役所主催の「夢キタ万博2025」に出展しました。このイベントは、「子どもたちの夢づくり事業」の一環で、これまで大阪市北区役所が連携してきた企業・団体・大学などが最先端のヒト・モノ・コトを展示するものです。

本学からは、「人間拡張」をテーマに「筋肉が動くときに人から発生する電気信号に基づき動くアシストグローブ(握力の弱い方でも物を握ることができる)」と「ルービックキューブの解法手順を示すスマートグラス」の体験ブースを出展しました。ヒトのセンシングに基づく新しい価値創造を目指した同研究室の研究成果を多くの子供たちに体感していただきました。



アシストグローブ体験の様子



スマートグラス体験の様子



「ドローンプログラミング大会 OITカップ2025」を開催！

11月3日、情報科学部実世界情報学科は北山祭と同時開催で「ドローンプログラミング大会 OITカップ2025」を実施しました。本大会は、2025年4月に開設された大規模実



証実験施設「DXフィールド」を活用し、災害現場への物資搬送を想定したドローン制御のプログラミング競技として行われました。中学生・高校生が参加し、講習会を経て各チームでドローン进行操作し、得点を競いました。

当日は、初めてドローンに触れる参加者も多くいましたが、講習会とその後の実践練習を繰り返す中で、チームごとに徐々に制御のコツを掴み、プログラムの工夫によって飛行精度が大きく向上する様子が見られました。会場には多くの来場者も訪れ、中学生・高校生が挑戦する姿に多くの注目が集まりました。

競技後には表彰式を行い、上位3チームへ賞状と副賞を贈呈しました。本大会を通じて、参加者がプログラミングやプログラミング技術への関心を高める有意義な機会となりました。





現場で学ぶ、知的財産の最前線

知的財産学部では、社会で「知的財産」がどのように活用され、ビジネスを支えているかを肌で感じる、実践的な研修プログラム「知的財産研修」を実施しています。この科目は夏期休暇中(8月下旬～9月上旬)に集中開講で企業を訪問し、知財の現場を体験してもらう内容です。

訪問先は、関西圏にある多様な業種の企業や公的機関です。学生たちは、身近な製品を作る企業、専門技術で社会を支えるものづくり企業、新聞社やテレビ局といったメディア産業、そして知的財産の保護を担う公的機関(神戸税関)まで、幅広い現場を訪れました。

研修では、ただ施設を見学するだけではなく、第一線で活躍する知的財産部門の担当者の方々から、特許や商標、デザインといった権利をいかにして生み出し、事業戦略に活かしているか、貴重なお話を伺いました。また、普段は見ることのできない製造ラインや開発の現場を見せていただいたり、製品に関わるワークショップに参加するなど、体験的に学ぶ多くの機会がありました。

学生たちは、担当者の方々の説明を熱心に聞き、積極的に質問することで、教室での学びが実社会でどう応用されているかを肌で感じたようです。それは知的好奇心を満たすと同時に、社会人として働くことの意義や知財の奥深さを実感する貴重な機会ともなりました。また、訪問先で活躍する本学部の卒業生に出会う機会もあり、先輩の姿は、自身の将来を具体的にイメージする上で良い刺激となったことでしょう。

参加学生の多くは1年生で、自らの将来のキャリアを考える上で、非常に大きな刺激となったことと思います。この研修で得た「実体験」という種を、これからの大学生活での専門的な学びを通じて、大きく育てていくことを期待しています。訪問させていただいた企業や公的機関のみなさまには感謝しています。

このように知的財産学部では、学びと社会とのつながりを意識した教育コンテンツで、学生たちの成長を力強くサポートしていきます。



図書館でビブリオバトル開催 ー全国大学ビブリオバトル 2025関西ブロック予選会ー

10月18日、「全国大学ビブリオバトル2025関西ブロック予選会」を図書館大宮本館ラーニングcommons6(5号館6階)で開催しました。本学と他大学から出場したバトル(発表者)9人は、城北祭に会場した一般の方々や学生、教職員に向けて、おすすめ本の魅力を熱心に語りかけました。

「どの本が一番読みたくなったか」を基準に観戦者が投票し、2部構成の前半の部は神戸大学大学院生が発表した「自由研究には向かない殺人」(ホリー・ジャクソン著、東京創元社)、後半の部は玉置実来さん(情報科学部情報システム学科2年)が発表した「小川未明童話集より『野ばら』」(小川未明著、新潮文庫)が選ばれました。

優勝した2人は11月1日に梅田キャンパスで開催された関西C・Eブロック決戦(主催団体:工大知的財産学部)に出場し健闘しました。



予選会後半の部で優勝した玉置さん



2026年秋の長期交換留学 プレントリー締切迫る ～国際交流センター～

2026年秋出発(8～10月)の長期交換留学プレントリーを1月末まで受け付けています。長期交換留学は、専門科目の履修・語学学習(英語・スペイン語・韓国語・中国語)・研究インターンを目的に、在学中に最長1年間、海外協定校等へ留学できる制度です。派遣先の授業料は原則免除、大学から渡航費補助があり、条件を満たせばJASSO奨学金(月額8～12万円)も受給可能です。長期海外滞在中で自己成長が促され、コミュニケーション力や課題発見力、適応力が身につきます。応募前の面談で留学先を決めるため、国際交流HPのフォームからプレントリーしてください。

長期交換留学(国際交流HP)

<https://www.oit.ac.jp/international/program-about.html#id12>



ドイツ・ヒルデスハイムの街並み(HAWK大学交換留学派遣生提供)

城北祭

大宮キャンパス

2025 10/17(Fri) ▶ 19(Sun)

開催

テーマ

「Find your Journey」



城北祭実行委員会
委員長

金子 虎太郎

第77回城北祭にお越しくださった皆様、また、開催にあたりご協力・ご支援くださった皆様、近隣の皆様に厚く御礼申し上げます。

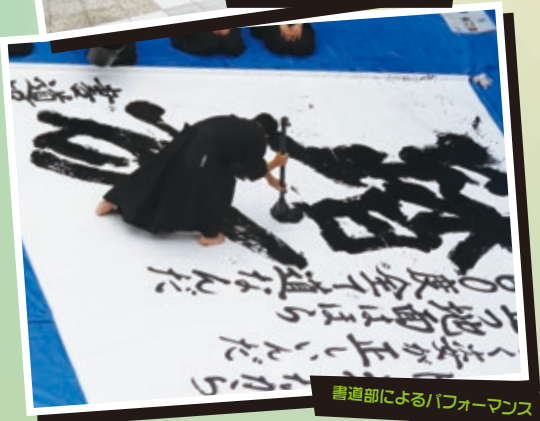
今年の城北祭は「Find your Journey」のテーマに合わせて、来場者の皆様が過去を振り返ったり未来に思いをはせたりする空間にすべく、屋内外で数多くの企画やイベントを展開しました。

メイン会場の東中庭では、バリエーション豊かな23の模擬店が並びとともに、ウインドアンサンブルを含む学園設置各学校（大阪校地）の吹奏楽部による演奏や、カラオケ大会などを行いました。また、初日の17日の19時からはキャンドルナイトを開催。大阪・関西万博の大屋根リングから着想を得たキャンドルアートが夜のキャンパスを彩りました。最終日には文化会本部が主催する工学祭（学術系団体による研究発表）・芸能祭（芸術系団体による作品展示）・音楽祭（音楽系団体による演奏）の表彰が閉幕式で執り行われました。

おかげさまで来場者数は3日間で約1万5000人（延べ）を超え、大いににぎわい活気ある城北祭となりました。第78回の城北祭は更に活気あるものにすべく、鋭意準備を進めてまいりますので、どうぞご期待ください。



ウインドアンサンブルによる
開祭のファンファーレ



書道部によるパフォーマンス



鉄道研究部による
巨大ジオラマ・プラレール



学生によるキャンドルアート



盛り上がったビンゴ大会

表彰団体一覧

2025年度

工学祭

賞	受賞者
学長賞	機械工学研究部
後援会会長賞	城北水辺クラブ
校友会会長賞	建築文化研究部

芸能祭

賞	受賞者
学長賞	書道部
後援会会長賞	鉄道研究部
校友会会長賞	写真研究部

音楽祭

※学長賞のみ

賞	受賞者
学長賞	ウインドアンサンブル

キャンドルナイト学生アワード

賞	受賞者
ベストオブキャンドルナイト賞	将棋部
グッドデザイン賞	天文学研究部
カメラマ賞	剣道部

茶屋町祭

梅田キャンパス

北山祭

枚方キャンパス

2025 10/19 Sun
10:00～16:00

開催

茶屋町祭実行委員会
委員長
細澤 孟留



テーマ 「Next Palette」

この度は第9回茶屋町祭にご来場いただきまして誠にありがとうございました！

今年の茶屋町祭は「Next Palette」をテーマに開催いたしました。茶屋町に関わる一人ひとりを“色”に見立て、その多様な色が混ざり合い、新しい未来へのパレットを描いていく——そんな思いを込めました。

団体による企画展示やキッチンカーの出店に加え、今年度は子ども向けプログラミングワークショップ、自作した物品を販売する学生フリーマーケットを初めて開催しました。充実したプログラムでにぎわいのある茶屋町祭を来場者の皆様楽しんでいただきました。

本祭を無事に開催することができたのは、ご来場いただいた皆様、そして準備段階からご協力いただいた関係者の皆様のおかげです。改めて、心より御礼申し上げます。

来年は記念すべき第10回の開催となります。これまで積み上げてきた茶屋町祭をさらにアップデートし、より良い祭へと進化させてまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

表彰団体一覧

2025年度



賞	受賞者
学長賞	梅田ロボットプログラミング部
学部長賞Ⅰ	OIT マケット（模型）サークル
学部長賞Ⅱ	OIT 梅田ボランティア部
後援会会長賞	OIT 梅田 esports プロジェクト
大阪工業大学校友会会長賞	デザイン思考実践研究部
CIDRe長賞(1位)	コンクリートコーリング株式会社チーム
CIDRe長賞(2位)	有光工業株式会社チーム
CIDRe長賞(3位)	株式会社毎日放送 B チーム



OIT マケット（模型）サークルによる
模型展示



梅田ロボットプログラミング部による
ロボット操縦体験



1階ギャラリーでの
学生フリーマーケット



空間デザイン研究部による
キャンドルナイト



キッチンカーでの
クレープ販売



OIT 梅田 esports
プロジェクトによる
eスポーツ体験会



OIT 梅田ボランティア部による
絆日

2025 11/3 Mon 祝
10:00～17:00

開催

北山祭実行委員会
委員長
難波 柊人



テーマ 「勝氣(しょうき)」

第28回北山祭へご来場いただいた皆様、そして開催にご協力くださった関係者の皆様に、心より御礼申し上げます。今年度の北山祭は、「勝氣(しょうき)」をテーマに掲げ、来場者の皆様へ勇気を与えられるような学園祭を目指し、実行委員会一丸となって取り組みました。

今年度のステージ企画では、吉本興業の芸人によるお笑いライブやマジックショー、課外活動団体によるパフォーマンス、ビンゴ大会に加え、移動動物園や模擬店、フリーマーケットなど、さまざまな催しを開催することができました。また、今年の4月に誕生した大規模屋内実証実験施設「DXフィールド」では中高生を対象とした「OITカップ」を開催しドローンの魅力を伝える良い大会となりました。

来年度の北山祭は、更に進化した企画をお届けできるよう準備を進めてまいります。また、より多くの方々に楽しんでいただけるよう実行委員会一同、引き続き努力いたしますので、ぜひご期待ください！

北山祭研究室発表各賞一覧

2025年度



賞	受賞者
学長賞	空間映像システム研究室（河北教授）
学部長賞	画像処理研究室（神納准教授）
後援会会長賞	経宮システム研究室（椎原教授）
大阪工業大学校友会会長賞	地球環境研究室（横川教授）
イノベーション大賞	社会基盤情報システム研究室（山田教授）



子どもに人気の移動動物園



ストリートダンス部によるパフォーマンス



フリーマーケット



キッチンカー



Oh! IT カーニバル



よしもとお笑いライブ



外国人留学生が関目東小学校を訪問、 児童たちと国際交流

10月16日(木)、本学の外国人留学生4人(中国、インドネシア、ミャンマー)が大阪市立関目東小学校を訪問し、2年生と5年生の2学年の児童と交流しました。この行事は同校の国際理解教育の一環として2022年から本学と実施しており、今年で4回目を迎えます。

最初に、留学生は児童の前にして自己紹介を終えた後、各クラスに分かれ、教室で留学生の母国紹介を行い、児童からの質問に丁寧に答えていました。また、留学生らは5年生から「よさこいソーラン」を教えてもらい、最後に留学生も交じて全員で踊るなど、大変盛り上がった交流会となりました。

本行事に参加した留学生からは、「すごく元気で、たくさんの質問に答えるのが楽しかったです。日本の小学生が一所懸命、英語で話そうとしてくれて嬉しかったです。」と話してくれました。留学生にとっても日本の子供たちと交流する良い機会となりました。

自己紹介をする
留学生たち



母国の言葉を教えるダレルさん
(左:インドネシア出身・
工学部建築学科1年)
とヤティさん
(右:ミャンマー出身・
工学部建築学科1年)



「令和7年度 山幸彦まつり」に 環境工学研究部が出展 —奈良県川上村との交流を深め、 地域の魅力発信に貢献—

11月9日、本学が包括連携協定を締結している奈良県川上村で、「令和7年度 山幸彦まつり」が開催されました。このお祭りは、日本神話に登場する山の狛に長けた「山幸彦(やまさちひこ)」にちなんで名付けられたもので、高齢化や過疎化が進む川上村が、地域のにぎわいと魅力づくりを目指して毎年開催しています。本学は2011年度から継続して参加しており、川上村との交流を深めてきました。



達成感あふれる笑顔で記念撮影

今年度は、環境工学研究部が、ドライフラワーやホログラムチップをUVレジンで固めたキーホルダー制作体験ブースを出展しました。学生たちは来場者一人ひとりに丁寧にサポートし、子どもからご年配の方まで幅広い世代の方々に楽しく体験していただきました。あいにくの天候にもかかわらず、のべ約80人が参加し、会場は終始にぎわいを見せました。ご参加・ご協力くださった皆様に心より感謝申し上げます。

今年度は、環境工学研究部が、ドライフラワーやホログラムチップをUVレジンで固めたキーホルダー制作体験ブースを出展しました。学生たちは来場者一人ひとりに丁寧にサポートし、子どもからご年配の方まで幅広い世代の方々に楽しく体験していただきました。あいにくの天候にもかかわらず、のべ約80人が参加し、会場は終始にぎわいを見せました。ご参加・ご協力くださった皆様に心より感謝申し上げます。



来場者のこだわりをサポート



学生が来場者とともに作品を制作



学生フォーミュラプロジェクトが「第23回学生フォーミュラ日本大会2025」にて 「最軽量化賞(ICV)」と「省エネ賞」を受賞

9月8日～13日にかけて、愛知県常滑市のAichi Sky Expo(愛知県国際展示場)で開催された「第23回学生フォーミュラ 日本大会2025」に本学学生フォーミュラプロジェクト「TEAM REGALIA」が出場しました。本大会は、コストやデザイン(設計)、製造販売に関するプレゼンテーションを評価する「静的審査」と、マシンの走行タイムや燃費効率などを評価する「動的審査」の合計得点を競います。

今年のチーム車両「REG18」は、エンデュランス完走を目指して、安定した走行性能を重視して設計されました。基本設計は昨年の「REG17」と同じものを採用しつつ、吸気と排気に関わるトラブルを改善するため、エンジンパーツを変更しました。車体重量は186.0kgと今大会出場チームの中で最軽量を実現し、最軽量化賞(ICV)の特別表彰を受賞しました。また、消費効率審査の得点が最も高いチームに与えられる「省エネ賞」で3位に入賞しました。

チームリーダーの近久蓮さん(工学部機械工学科2年)は、「目標にはあと一歩でしたが、大きく成長できた一年でした。今後は更なるマシンの性能向上に向け、チーム全員でより一層の努力を重ねたい」と来年に向けた意気込みを語りました。



民間奨学団体（大学推薦型）にかかる推薦希望者の事前登録について

多くの企業や公益法人等（以下、「民間奨学団体」という）では、広く社会に貢献する人材育成を目的に奨学事業を実施しています。この奨学金は民間奨学団体が大学を通じて一定の推薦枠を設けて、奨学生を募集するものです。原則として給付制（返還不要）で、大学からの推薦がなければ応募出来ません。民間奨学団体の応募に相応しい人物を学内で選考したうえで、各奨学団体に推薦します。

2026年度の推薦希望者の事前登録の受付は、各キャンパスの奨学金担当部署よりUNIPA・oitdrive内「工大web掲示板」にてお知らせします。希望者は詳細を確認し、登録手続きを行ってください。

民間奨学団体の採用枠・推薦枠は非常に限られていますので、登録後、全員が奨学金に推薦・採用されるわけではありません。これらを理解したうえで、登録してください。

【奨学金担当部署】

大宮キャンパス：厚生課

梅田キャンパス：ロボティクス&デザイン工学部事務室

枚方キャンパス：情報科学部事務室



公益財団法人小野奨学会より本学学生が表彰されました

公益財団法人小野奨学会は、大阪府内の大学に在学する学生のうち、学業・人物共に優れ、健康で向学心を有する学生に対して奨学金を給付しています。さらに、学業成績及び課外活動等特に優秀な成績を修めた奨学生を対象に表彰を行っています。

このたび、荒木俊哉さん（工学部機械工学科4年）が、令和6年度において極めて優秀な成績を修められたことから、学業成績優秀者として選出され、表彰状が授与されました。荒木さんは、前年度に引き続きの受賞となります。

荒木さんの更なる活躍に期待します。

2年連続で表彰を受けた荒木さん



第20回淀川クリーンキャンペーンを実施しました

11月15日、「淀川クリーンキャンペーン」を実施しました。本イベントは、2006年に開始した地域の清掃活動イベントです。毎年、本学大宮キャンパスの課外活動団体の学生やスポーツ教室に通う子供たちの他、近隣住民の方々が参加しています。また、旭区役所と連携し城北ロータリークラブの方々にもご協力・ご協賛いただいています。

20年目の今年は約200人が赤川鉄橋（正式名称：淀川橋梁）から豊里大橋までの淀川河川敷を歩いて空き缶やたばこの吸い殻などのゴミを拾い集めました。また、不法投棄されたと思われる鉄製の鍋やラジオカセットデッキが見つかり、回収に苦労する場面もありました。

淀川に棲む生物の生態を研究している環境工学研究部の学生からは、「ビニール袋の小さな破片でも魚は餌と誤って飲み込んでしまいます。河川敷の環境を美化することが生態を守ることにつながるので、これからも継続していけたら」との話がありました。



参加した学生たち



ゴミを拾い集める学生



回収したゴミ

私の学生時代を
振り返って

工学部長(研究科長兼任) 上辻 靖智



スキューバダイビング

私の学生時代は、スキューバダイビングに夢中でした。中学・高校で水泳部に所属していた頃から、水中での重力からの解放感に魅了され、いつか綺麗な海に潜ってみたいあと夢見ていました。運よく、大学に入学してすぐ、スキューバダイビングのサークルに出会いました。1年生の夏は、座間味島(沖縄県)で綺麗なサンゴ、熱帯魚に感動し、2年生は石垣島でマンタ(オニイトマキエイ)の群れに圧倒されました。3年生は西表島でナイトダイビングに挑戦し、珍しいサンゴの産卵に遭遇しました。真っ暗な夜の海の底から湧き上がる無数の粒に包まれ、まるで宇宙を浮遊しているかのような神秘的な体験でした。一方、シーズンオフは夏の活動費を蓄えるため、アルバイトとして家庭教師に精を出しました。自分で理

解することと違って他人に理解してもらうことの難しさに苦戦しながらも、生徒さんの分かったときの笑顔に励まされました。今から思えば、教職を目指す原点になったのかも知れません。4年生以降は、研究室に寝泊まりしながら、軽くて強いプラスチック材料の研究に励みました。本学でも木材から抽出した繊維で強化した環境に優しいプラスチック材料を研究しています。

地球温暖化、マイクロプラスチックなど海の環境は激変しておりますが、大切な海に少しでも恩返しできるよう日々研究しています。



研究室にて

学生相談室
だより

巡る季節の中で

学生相談室カウンセラー 山下 彩

「あけましておめでとうございます!」と、晴れやかなご挨拶にしたいのですが、私事にて少しどんよりした気分になっています。10年以上応援してきたアーティストが昨年末で活動休止に入ったのです。

これまでの学生相談で、推しの引退や解散による『ロス』の話は度々ありました。が、いざ自分事になってみると喪失感は予想以上です。

『ロス』はいろいろな形で、誰の日常にも起こります。友人との仲たがいが、試合や試験の失敗、大事な物やお金をなくした…。こうしたとき、人は心の穴を埋めようと、いろいろものがくものです。「そんなはずはない」と否定したり、誰かのせいになしたり、逆に元気なふりをしたり。ショックや後悔で思考停止してしまうかもしれません。

『ロス』で一時的に平常心を失うのは、ごく自然な反応です。ただ、その時の感情で発言や行動をしてしまうと自分や他人を傷つけかねません。

もし大切なものを失い、「なんだかいつもと違う(落ち着かない、疲れやすい、ぼーっとするなど)」と感じたら、ちょっと立ち止まって自分の心と向き合ってほしいと思います。そして、できれば誰かに相談してみてください。

この新しい年に、いろいろな節目を迎える人も多いことでしょう。皆さんにとって、それぞれの実りがある一年となりますように。

常翔ウェルフェアニュース
JoshoWelfareNews

株式会社常翔ウェルフェアのご案内

株式会社常翔ウェルフェアは常翔学園の100%出資会社として1993年に設立しました。

食堂、コンビニの運営、各種パーティ、ケータリング、教科書や物品販売などの福利厚生事業や印刷事業、常翔学園設置学校の業務受託、損害保険代理店業務を行っております。

食堂のメニューや各店舗の営業時間、イベントのお知らせはQRコードからホームページをご覧ください。



工大流就職支援 73

～就職NEWS～

10月20日、「2025年度インターンシッププログラム報告会」を開催しました。インターンシップの履修生、受入企業を合わせて約180人が一堂に会し、総括報告会では、インターンシップに参加した学生を代表して3人が、実習内容、大学で学んだことが社会でどのように活かされているかなどの体験を報告しました。各実習生の受入企業の皆様からは、実習に対して真剣に取り組む姿勢を評価いただくなど、工大生に対して期待を寄せていただきました。また、情報交換会では、井上学長・芦高副学長出席のもと、受入企業と参加学生が親睦を深めました。本授業で行っているインターンシップは、「就職に「超」強い工大」の特色の一つです。



情報交換会の様子